

## 安全データシート

作成日 : 2011年 3月29日

改訂日 : 2016年 5月31日

## 1. 化学品及び会社情報

製品名 : シーカデュア® 53 A成分  
会社名 : 日本シーカ株式会社  
住所 : 神奈川県平塚市長瀬1-1 (〒254-0021)  
担当部門 : 管理&EHSグループ  
電話番号 : 0463-24-4976  
FAX番号 : 0463-23-2229  
緊急連絡電話番号 : 0463-24-4976  
整理番号 : 4035

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

物理化学的危険性 : 分類対象外  
健康に対する有害性  
皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 区分2  
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 区分2B  
皮膚感作性 : 区分1  
環境に対する有害性  
水生環境有害性(急性) : 区分2  
水生環境有害性(長期間) : 区分2

## GHSラベル要素

## 絵表示



注意喚起語 : 警告

## 危険有害性情報

皮膚刺激  
眼刺激  
アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ  
長期継続的影響により水生生物に毒性

## 注意書き

## 【安全対策】

保護手袋を着用すること。  
取り扱い後はよく手を洗うこと。  
粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気を吸入しないこと。  
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
環境への放出を避けること。

## 【応急措置】

皮膚についた場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。  
皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。  
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。  
眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。  
取り扱った後、手を洗うこと。  
漏出物を回収すること。

## 【保管】

施錠して保管すること。

**【廃棄】**

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。

**3. 組成、成分情報**

化学物質・混合物の区別 : 混合物  
 化学名又は一般名 : エポキシ樹脂系接着剤 主剤

**成分及び含有量**

成分	含有量	化学式	CAS No.	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	20～25%	—	25068-38-6	(7)-1283
酸化チタン	1～5%	TiO <sub>2</sub>	13463-67-7	(1)-558
ベンジルアルコール	1～3%	C <sub>7</sub> H <sub>8</sub> O	100-51-6	(3)-1011

**成分及び含有量**

ビスフェノールA型エポキシ樹脂	; 20～25%
高級アルコールのグリシジルエーテル	; 1～3%
ベンジルアルコール	; 1～3%
顔料、充填材	; 65～70%

**4. 応急措置**

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。  
 気分が悪い時は、医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水で汚染された皮膚を洗浄する。  
 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ、再利用する場合は洗濯すること。  
 皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。少なくとも10分間は洗い流し続ける。  
 直ちに医師の診断を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 無理に嘔吐させずに、直ちに医師の診断を受ける。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候
- |    |                 |
|----|-----------------|
| 皮膚 | ; 発赤、痛み、アレルギー反応 |
| 眼  | ; 発赤、痛み         |
- 症状は遅くなって現れることがある。
- 応急措置をする者の保護 : 救助者はゴム手袋、保護眼鏡などの保護具を着用する。

**5. 火災時の措置**

- 消火剤 : 粉末、炭酸ガス、泡、乾燥砂
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし
- 火災時の措置に関する特有の危険有害性 : 燃焼ガスには、一酸化炭素、二酸化炭素等の有害ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙を吸入しないように注意する。
- 特有の消火方法 : 消火作業は、風上から行う。  
 消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。
- 消火を行う者の保護 : 燃焼により有毒なガス(一酸化炭素、二酸化炭素)が生成するので、呼吸保護具を着用する。

**6. 漏出時の措置**

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置  
 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。

蒸気の吸入や皮膚への接触を防止する。  
作業の際には必ず保護具を着用する。

#### 環境に対する注意事項

河川、下水道への流出、土壌への放出を防止する。  
水質汚染物質であり、大量に放出されると環境に対して有害である可能性がある。

#### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

乾燥砂、ウエス等に吸収させて、蓋付きの空容器に回収する。  
付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。

二次災害の防止策 : 特になし

### 7. 取扱い及び保管上の注意

#### 取扱い

- 技術的対策 : 取扱う場合は、局所排気内、または全体換気の設備のある場所で取扱う。  
局所排気装置は作業が行われている間、適正に稼働させ、又定期的に点検する。  
作業所外に排出する場合は、排気、排液等による汚染を防止する措置を取る。
- 安全取扱い注意事項 : 取扱い場所周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。  
皮膚、粘膜に触れたり、目に入らぬよう保護具を着用する。  
保護クリームで露出した皮膚を保護する。  
取扱い後は、石鹼を用いて手洗い、洗顔を行う。

#### 保管

- 安全な保管条件 : 容器を密閉して換気の良い冷暗所で、施錠して保管する。  
熱及び直射日光を避ける。
- 安全な容器包装材料 : 情報なし

### 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 取扱いは局所排気装置下、または換気の良い場所で行う。  
局所排気装置は作業が行われている間、適正に稼働させ、又定期的に点検する。  
作業所近くに手洗い、シャワー設備等、身体洗浄のための設備を設ける。

管理濃度 : 未設定

許容濃度 : 未設定

#### 保護具

- 呼吸用保護具 : 通気がよくない場合は、有機ガス用防毒マスクを着用する。
- 手の保護具 : 不浸透性(ニトリル、ブチルゴム)の保護手袋を着用する。
- 眼の保護具 : 保護眼鏡を着用する。
- 皮膚及び身体の保護具 : 作業着を着用する。

### 9. 物理的及び化学的性質

- 外観 : 灰色液体
- 臭い : 特異臭
- pH : 該当しない
- 融点・凝固点 : 情報なし
- 沸点、初留点及び沸騰範囲 : 該当しない
- 引火点 : 178°C以上
- 発火点 : 情報なし
- 燃焼又は爆発範囲の上限・下限 : 情報なし
- 蒸気圧 : 情報なし
- 密度 : 2.35±0.05 g/cm<sup>3</sup> (20°C)
- 溶解性 : 情報なし

分解温度 : 情報なし

#### 10. 安定性及び反応性

- 反応性 : 情報なし  
化学的安定性 : 通常の温度、圧力の条件下では安定である。  
危険有害反応可能性 : 特記すべき反応性なし。  
避けるべき条件 : 混触危険物質との接触  
混触危険物質 : 酸、酸無水物、ポリアミン、ポリアミドと反応する。  
危険有害な分解生成物 : 通常保管及び使用条件化では、危険な分解生成物は生成されない。

#### 11. 有害性情報

- 急性毒性(経口) : (成分のデータ)ビスフェノールA型エポキシ樹脂  
経口ラット LD50 ; 11,400mg/kg (CERI (2002))  
皮膚腐食性及び刺激性 : (成分のデータ)ビスフェノールA型エポキシ樹脂  
ウサギ ; 中程度の皮膚刺激を有する  
CERI (2002), DFGOT vol.19 (2003)  
眼に対する重篤な損傷性又は刺激性 : (成分のデータ)ビスフェノールA型エポキシ樹脂  
ウサギ ; 軽度の皮膚刺激を有する CERI (2002)  
呼吸器感作性又は皮膚感作性 : (成分のデータ)ビスフェノールA型エポキシ樹脂  
皮膚感作性 ; ヒト及びモルモットに対する皮膚感作性試験結果の  
記述。日本職業・環境アレルギー学会による皮膚感作性物質という  
分類結果から、皮膚感作性を有すると考えられる。  
CERI (2002), DFGOT vol.19 (2003)  
その他 : (成分のデータ)ビスフェノールA型エポキシ樹脂  
変異原性 ; 労働省の有害性調査の結果、微生物を用いる変異原  
性試験及び哺乳類培養細胞を用いる染色体異常試験の2種類の変  
異原性試験で所定の基準を超える値を示した。

#### 12. 環境影響情報

- 生態毒性  
魚毒性 : (成分のデータ)ビスフェノールA型エポキシ樹脂  
甲殻類(オオミジンコ) EC50 ; 1.7mg/L(48hr) (CERI・NITE 有害性評価書 2006)  
水生生物に非常に強い毒性  
残留性・分解性 : (成分のデータ)ビスフェノールA型エポキシ樹脂  
急速分解性がない(BODによる分解度:0%,既存化学物質安全性点検データ)こと  
から、長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

#### 13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 主剤と硬化剤を混合して硬化させた後、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物  
処理業者に処理を委託する。  
汚染容器・包装の廃棄方法 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

#### 14. 輸送上の注意

- 国際規制  
IMDG(国際海上危険物規則)コード  
国連番号 : 3077  
国連分類 : 9  
容器等級 : III  
国連輸送名 : 環境有害物質、固体



ラベルNo. : 9  
IATA(国際航空運送協会危険物規則)  
国連番号 : 3077  
国連分類 : 9  
容器等級 : III  
国連輸送名 : 環境有害物質、固体  
ラベルNo. : 9

#### 国内規制

陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。  
輸送又は輸送手順に関する特別の安全対策  
取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。  
容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。  
火気注意。

#### 15. 適用法令

消 防 法 : 非危険物  
労働安全衛生法 :  
変異原性が認められた既存化学物質(法第57条の5、労働基準局長通達) ;  
ビスフェノールA型エポキシ樹脂  
名称等を表示すべき危険物及び有害物(法57条1、施行令第18条) ; 該当物質なし  
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9) ;  
酸化チタン(政令番号 191)  
化学物質管理促進法(PRTR法) : 該当物質なし  
毒劇物取締法 : 該当物質なし  
大気汚染防止法 : 揮発性有機化合物 ; ベンジルアルコール

#### 16. その他の情報

ホルムアルデヒド基準 : (日本接着剤工業会)室内空気質汚染対策のための自主管理規定  
**JAIA F☆☆☆☆**  
シーカデュア53 A成分/B成分 : 登録番号006384

#### 引用文献

- ・GHS対応ガイドライン 安全データシート作成指針 2012年6月  
社団法人 日本化学工業協会
- ・GHS分類結果データベース、独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ
- ・労働基準局長通達「変異原性が認められた化学物質による健康障害を防止するための指針」  
(平成5年5月17日 基発第312号の2)
- ・労働基準局長通達「変異原性が認められた化学物質の取扱いについて」  
(平成6年6月6日 基発第341号の2)
- ・『新・エポキシ樹脂・硬化剤 正しい取扱いの手引き』 管理者用 エポキシ樹脂技術協議会

この安全データシートに記載されている内容は、発行時における当社の最新の知識によるものですが  
当社はその内容につき何らの保証をなすものではありません。  
保証については、当社の最新の一般販売条件が適用されます。  
製品を使用または適用する前に、必ずプロダクトデータシートをご検討下さい。

#### 発行変更履歴

作成日 : 2011年 3月29日  
改訂日 : 2016年 5月31日